令和２年６月

【布製マスクと不織布（ふしょくふ）製マスクとの違いを知りたい】

**【相　談】**

新型コロナウイルス感染症の拡大で、マスクの品薄状態が続いている。高齢で１人暮らしのため、なかなか手に入らない。特に不織布製のマスクが手に入りにくい。布製でも効果があるなら使おうと思うが、布製マスクと不織布製マスクとの違いを教えて欲しい。

**【アドバイス】**

布は糸を織ったり編んだりして作られていて、織り目（編み目）ができるため、布製マスクは織り目（編み目）を通してウイルスを通しやすいと言われています。

一方、不織布は繊維を特殊加工により接着またはからみ合わせることにより、薄いシート状に加工しています。そのため織り目（編み目）がないので、不織布製マスクはウイルスを通しにくいと言われています。

布製マスクの効果については、厚生労働省「布マスクの全戸配布に関するQ&A」の中で次のように説明されています。

１．せきやくしゃみなどの飛散を防ぐ効果があることや、手指を口や鼻に触れるのを防ぐ

ことから、感染拡大を防止する効果。

 ２．マスクの着用により、喉・鼻などの呼吸器を湿潤させることで風邪等に罹患しにくくなる効果。

 ３．洗濯することで繰り返し利用することができるため、店頭でマスクが手に入らないことに対する国民の皆様の不安の解消や、増加しているマスク需要の抑制により、医療機関や高齢者施設などマスクの着用が不可欠な方々にしっかり必要な量を届けるという効果。

不織布製マスクも最近では少しずつ店頭に並ぶようになり、品薄感はだいぶ薄れてきました。材質やデザインなども多様になり選択肢が拡大しています。また手作りする方も増えています。しばらくはマスク着用が続きますので用途に合ったマスクを選ぶようにしましょう。

**お困りの時は消費者ホットライン**

　☎局番なしの１８８（泣き寝入りはいやや！）・・・お近くの消費生活センター等につながります。